

令和5年度 第3回 地域運営推進会議録

日 時 令和5年8月22日（火）

14時00分 ～ 15時00分頃迄

場 所 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑かすが地域交流ホール

出席者：

ささづ苑ご家族	若松 孝育 様
ささづ苑かすがご家族	太田 豊 様
春日長走自治会自治会長	片山 亮一 様
民生児童委員（笹津4～6区）	田林 美紀子 様
民生児童委員（春日長走、下タ林）	片山 あつ子 様（欠席）
大沢野保健福祉センター 保健師	木下 真緒 様
富山市社会福祉協議会 大沢野細入支所 所長	横井 浩伸 様
大沢野南部地区社会福祉協議会 会長	宮崎 周二 様
大沢野細入地域包括支援センター センター長	貝沼 尚実
地域密着型特別養護老人ホームささづ苑 施設長	岩井 広行
〃 事務長	山本 博之
〃 生活相談員	吉野 英樹
〃 ユニット課次長	盛安 朋子
地域密着型特別養護老人ホームささづ苑かすが 施設長	古柴 政美
〃 ユニット部副主任	長谷川 司
〃 生活相談員	荒井 康德

目的

地域密着型特別養護老人ホームとして、入居者、入居者家族、地域住民の皆様、行政機関と連携及び協力を行い、より一層の交流を図り活動することを目的とする。
また、地域密着型特別養護老人ホームささづ苑・ささづ苑かすかの活動状況を報告する場として位置付けるとともに皆様のご意見・ご要望を運営に反映させていく。

構成員

入居者、入居者家族、民生委員、自治会長、大沢野及び細入行政センター、地域包括支援センター、その他知見を有するもの

開催回数 年6回を目途

内容

- 1、現状報告
- 2、活動報告と活動予定
- 3、入居申込者
- 4、皆さまからのご意見、要望等

1、現状報告

1-1 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑

① 入居様の以前のお住まい（令和5年8月22日現在）

入居者数 22名

旧大沢野	10名
旧細入	2名
旧八尾	5名
旧婦中	1名
旧富山市	3名
県外	1名

男性 4名 女性 18名

② 介護度別入居者（令和5年8月22日現在）

要介護1	0名
要介護2	0名
要介護3	6名
要介護4	14名
要介護5	2名
平均要介護度	3.81
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	20名 90.9%

平均年齢 89.0歳

③入退居の状況（令和5年6月27日～令和5年8月22日）

- (1) 退居者 1名
- (2) 入居者 2名

1-2 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑かすが

① 入居様の以前のお住まい（令和5年8月10日現在）

入居者数 29名

旧大沢野	22名
旧細入	2名
旧八尾	2名
旧婦中	1名
旧大山	0名
旧富山市	2名

男性 5名 女性 24名

③ 介護度別入居者（令和5年8月10日現在）

要介護1	0名
要介護2	0名
要介護3	13名
要介護4	11名
要介護5	5名
平均要介護度	3.72
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	25名 86.2%

平均年齢 87.0歳

※認知症自立度Ⅲ以上…認知症高齢者にかかる介護の度合いを分類したもの

Ⅲ以上は認知症重度の方

③入退居の状況（令和5年6月27日～令和5年8月10日）

(1) 退居者 2名

(2) 入居者 2名

2、活動報告と活動予定

2-1. 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑

令和5年7月	7/11 外食・買い物ツアー（番屋のすし・しまむら） 7/20 目の前調理（ピザ）
令和5年8月	8/3 くじDEアイスクリーム

誕生会 入居者様の誕生日にあわせて、ケーキとプレゼントでお祝い

2-2. 地域密着型特別養護老人ホームささづ苑かすが

令和5年7月	7/4 買い物（しまむら大沢野店） 7/13 目の前調理（ビビンバ） 7/21 旬のお弁当セレクト（ファミリーマート黒瀬店）
令和5年8月	8/8 大沢野こども園との交流（踊り・歌） 8/10 目の前調理（鯨の南蛮漬け） 8/19 大沢野花火大会鑑賞会 8/25 大相撲巡業（黒部）

●ご自宅への外出・外泊

7/7 外出：神通ユニット入居者1名 7/13～7/15 外泊：神通ユニット入居者1名

8/6 外出：猿倉ユニット入居者1名

●サークル活動（7/18 生け花サークル）

●カップラーメンの日（毎月1回）

●誕生会 入居者様の誕生日にあわせて、ケーキとプレゼントでお祝い

3、入居申込者（令和5年6月27日時点）

69名（従来型特別養護老人ホームを含む）

4、皆様からのご意見、要望等

ささづ苑ご家族 若松孝育様

信頼あるささづ苑に入居することができ安心している。

私自身、防災関連の仕事をしていることもあり、7月の線状降水帯や8月の台風などの災害に対する安全や衛生管理についても努力していただきたいと思っている。

回答：地域密着型特別養護老人ホームささづ苑施設長 岩井広行

ささづ苑・ささづ苑かすがは富山市の福祉避難所の指定を受けており、協定を結んでいる。今年の3月から災害バルクの設置を行い、電気が止まっても自家発電ができるようにしたり、太陽光発電で作った電力を蓄電できるようにしたりするなど対策を行っている。しかし、災害訓練や備品に関して不十分なところもある為、今年度プロジェクトチームを作る予定にしている。

ささづ苑かすがご家族 太田豊様

今月から入居させていただいている。以前利用していた施設ではビニール越しの面会だったが、こちらに入居し直接会って話ができることを喜んでいる。

春日長走自治会自治会長 片山亮一様

質問：要介護度の数字と認知症自立度のローマ数字の違いについて教えてほしい。

回答：地域密着型特別養護老人ホームささづ苑生活相談員 吉野英樹

要介護度の数字についてはケアマネージャーの認定調査票とかかりつけ医の主治医意見書をもとに介護認定審査会で判定し、要支援は1・2、要介護は1～5の数字がつけられる。

認知症自立度のローマ数字についてはかかりつけ医が主治医意見書の中で認知症による日常生活への影響を評価したものになる。I～Mまでのローマ数字で評価され数字が大きくなるほど重度と評価される。

春先に熊の出没情報があったので、対策として地区の空き地の草刈りを進めており、地区の富山市所有の土地については富山市に連絡して実施した。一方で、地区で草刈りが進んでいない空き地もあり、農業委員会を通して土地の持ち主に働きかけを行っているがなかなか進んでいない状態である。可能ならばささづ苑からも応援や働きかけを行っていただけないか。

民生児童委員（笹津4～6区 田林美紀子様

今回、初めて会議に参加させていただいた。私自身の事でもあるが、高齢ということもあり身体や脳を鍛える自助努力も必要だと感じている。

大沢野保健福祉センター 保健師 木下真緒様

前回、会議に参加させていただいた時に職員が楽しそうに仕事をしている動画が印象に残っている。活動報告でも入居者の方の意見を聞きながら様々な活動をされていたり、地域の方と交流を持たれていることが感じられた。

富山市社会福祉協議会大沢野細入支所所長 横井浩伸様

この夏の猛暑や大雨による土砂崩れなど災害が当たり前のよう起こっており、コロナもなくなったわけではない。ささづ苑はそのことも踏まえながら色々な事業に取り組んでおられる。今後も新しい取り組みを続けて行ってほしい。

大沢野南部地区社会福祉協議会会長 宮崎周二様

この猛暑で8月の行事は止めようとの声が上がっており、各支部の地域行事に参加する気力が薄れてきている。一人暮らしの高齢者は特に行事に参加することが難しい状態になっていることを認識していかなければならない。

入居者の方が自分の家に戻り、家族とゆっくり過ごす外出支援をしていると活動報告があった。自分の姉妹の話になるが、施設から自分の家に戻ると元気が出たり、昔のことを思い出したり、本人にとって良い事が多くあった。ぜひ、今後も活動を継続して行ってほしい。

次回開催時期

令和5年10月24日（火）14時より開催予定

以上

ささづ苑ユニット活動計画

① 外食会&買い物ツアー

久しぶりに外食会を行いました。事前に好きなものを聞いていたため、お寿司を食べに行きました。行こうと思っていたお寿司屋さんがまさかのお休みというハプニングはありましたが、職員が機転を利かせ、違うお寿司屋さんに行くことが出来ました。皆さんとても喜んでおられ、いつもはあまり進んでご飯を食べられない方も次々に手を伸ばして舌鼓を打っておられました。

買い物では、自分で選んだり職員に選んでもらったりして、思い思いのお洋服が買えました。着替えの際に楽しみにしておられます。また暑さが和らいだら計画していきたいと思います。



② ピザの日

入居者の「ピザ、食べてみたいわ」の一言で、目の前調理でピザを作ることになりました。生地の上にソースを塗ったり具をトッピングしたりと、入居者さんたちは大忙し、彩の良いピザが出来ました。小さめの生地だったので一人1枚はペロリでした。



③ あま〜いスイカ

おやつにスイカを提供しました。皆さんスイカが大好き。水分補給にもなるので、たくさん食べていただきました。普段なかなか食事が進まない方も、「スイカ！」と喜ばれ、しっかり食べていただきました。お茶が嫌いな方もスイカならモリモリ食べてくださって、ほっと一安心の職員でした。



④ くじ DE アイスクリーム

暑い日が続き、少しでもひんやりしていただこうと、アイスの日を設けました。ただアイスを食べるのでは面白みがないので、くじで当たったアイスを食べる企画にしました。皆さん、くじを引くのもドキドキされ楽しんでおられました。当たったアイスを見ながら「あんだ、何当たった?」「同じ味だけじゃつまらんから、ちょっこ交換せんまい」等言いながら楽しんで食べておられました。





ささづ苑かすが活動報告

① 七夕

入居者様 1 人 1 人が短冊に願いを真剣な表情で書いておられました。
一生懸命に短冊を結んできれいに飾りつけをしてくださり、素敵な七夕を過ごすことが出来ました。



② 旬のお弁当を食べよう

美味しい旬の物を食べて、暑さを乗り切ろうということで、好きなお弁当を選んでいただき注文しました。届いたお弁当のボリュームやおかずの種類の豊富さに皆さん笑顔が溢れていました。



③ しまむらでお買い物

服を新しく買って、おしゃれをして出かけたいと希望され、しまむらに買い物に行きました。「今日買った服を着ておっかに会い行きたい」と言われ、嬉しそうな表情をされていました。



④ ご自宅に戻り家族とゆっくり

ご自宅に戻り、ゆっくり自分の部屋で過ごしたり、家族で誕生日を祝ったり、墓参りに行かれるなど思い思いの時間を過ごしていただくことが出来ました。ご本人やご家族の希望を実現する為に外出支援にも力を入れています。



⑤ 地域の方との交流

大沢野こども園の園児との交流や地域包括支援センター主催のひまわりカフェの夏祭りに参加し、地域の方との交流を深めました。園児や地域の方との交流で元気と笑顔をいただき、夏祭りを楽しんで季節感を味わっておられました。



令和5年8月吉日

ささづ苑家族 各位
ささづ苑かすが家族 各位

ささづ苑・ささづ苑かすが家族会 開催のご案内

社会福祉法人宣長康久会
理事長 岩井 広行

残暑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス第5類になりましたことを踏まえまして「**家族会**」を下記の日程で開催することになりました。

当日は敬老の日です。法人では「SDG s フェスタ」を開催し、富山県内のSDGsを推進している企業さんの協力を得て、お弁当、パン、サポカー体験、eスポーツ、ドローン体験、ICT・スマホ教室などを実施します。ぜひ、家族会にお孫さんと共に来苑し、その後様々な楽しいイベントを入居者様と共に楽しんでいただきたいと思います。

別紙、用紙にて参加の有無をお知らせください。

夏の疲れが出てくる頃ですので、お体にはお気をつけてお過ごしください。

① 家族会日時 令和5年9月23日（土）9：30～10：00

場 所 ささづ苑地域交流室
〒939-2226
富山市下夕林141
TEL：076-467-1000

内 容 ささづ苑運営報告
各部署の状況報告
家族様からの質疑応答

② SDG s フェスタ開催日時 令和5年9月23日（土）10：00～14：00

場 所 晴天時：ささづ苑駐車場
雨天時：ささづ苑デイサービスセンター
駐 車 場 ささづ苑ユニット駐車場 と かすが駐車場

【担当】

ささづ苑 担当職員：吉野・盛安・八木
ささづ苑かすが 担当職員：荒井

ささづ苑SDGsフェスタ

<これからも安心して住み慣れた地域で暮らしましょう>

【目的】 楽しくイベントを通してSDGsを体験しましょう

【日時】 9月23日(土) 午前10:00~午後14:00

【場所】 特別養護老人ホームささづ苑駐車場

※雨天時、ディサービスセンターなど

トヨタモビリティ富山株式会社様より
サポカー体験・スマホ教室
ICT教室

花・souによるワークショップ
カラーサンド教室
フラワーポット販売

チョコレート販売

無添加のカカオ豆から板チョコまですべて手づくり。こだわりのチョコ販売



ハミングバード

コーヒー販売

美味しさにこだわった至福の一杯を用意しています



一番町珈琲

お弁当販売

ライフタイム
・カシワストア



綿菓子

大沢野南部地区
社会福祉協議会様

歌の発表

大沢野ちゅうおう
こども園 10:00~

パン販売

セーナー苑CoCo



神通ふれあいバンド演奏

12:30~

フードドライブ

お家に余っている食品はございませんか？
皆さんからのご厚意を慈善団体に寄付します
※賞味期限切れてないものをご持参ください



問合せ先 社会福祉法人 宣長康久会(せんちょうこうきゅうかい)

特別養護老人ホーム ささづ苑

TEL:076-467-1000

担当:杉本

ささづ苑では誰一人取り残さない社会づくり(SDGs)に取り組んでいます。



1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



14 海の豊かさを守ろう



15 陸の豊かさも守ろう



16 平和と公正をすべての人に



17 パートナリシップで目標を達成しよう



生活弱者の居住支援

県内7団体が協議会

所得や年齢、家庭内の事情などさまざまな理由で家主から賃貸住宅の入居を敬遠される人たちの契約サポートや生活相談を行う県内の7団体が21日、活動の周知や行政との連携を図るため協議会を立ち上げた。富山市で総会を開き、県や市町村と支援体制を強化し、生活基盤の整備を目指すことを確認した。

(和田華奈)

契約サポートや生活相談

高齢者や障害者、家庭内暴力(DV)の被害者、刑

務所出所者らの中には、近

隣住民とのトラブルや家賃の滞納、居室内での死亡などに対する懸念から入居を敬遠されることがある。社会福祉法人やNPO法人などの7団体は県から「居住支援法人」の指定を受け、家主と入居者の間に入り契約をサポート。契約時の付き添いや定期的な安否確認、生活相談などに当たり、双方が安心して貸し借りできる体制を整えている。

ただ、活動自体の認知が広まっておらず、各市町村



高齢者や低所得者の居住支援について、今後の取り組みを話し合った協議会。ささづ苑かすが

などに「支援を受けたくても問い合わせ先が分からない」といった相談が寄せられることがあるという。

協議会はこうした状況を踏まえ、7団体が主体とな

って設置した。名称は「富山居住支援ネットワーク協議会」で、県民や関係機関に居住支援法人の役割を周知したり、自治体と意見交換する場を設けたりする。

富山市居住対策課の林雅文係長は「協議会が設立されたことで、自治体としても支援の必要な人に窓口を伝えやすくなる。不動産業者などの情報共有や連携もスムーズになるだろう」と期待する。

同市下夕林(大沢野)の地域密着型特別養護老人ホーム「ささづ苑かすが」で

開かれた総会には、団体の代表者ら10人と、県建築住宅課、富山市居住対策課の担当者が出席。今後、居住支援法人の活動をまとめたチラシを作成し、不動産関係者や各自治体、県民に配布することや、情報交換会や事例検討会を開くことなどを確認した。

2020年2月に県内で初めて指定を受けた社会福祉法人「宣長康久会」の吉野英樹介護事業部門長によると、単身高齢者世帯の増加や、コロナ禍で生活困窮者が増えていることなどから、支援への需要は年々高まりつつあるという。「介護保険や生活保護の支援を受けるにも、そもそも居住先が定まっていけないと対象外になってしまふ。行政を巻き込みながら対策を練っていきたい」と話した。

▽参加団体 宣長康久会、とやま空き家・空地対策協会、ONWARD、福祉の泉、こころのTOYAMA、みつわ、コロナッ

地域密着型特別養護老人ホームささづ苑^{えん}かすが

内閣総理大臣表彰

基本情報

- ◆ 社会福祉法人 宣長康久会 せんちょうこうきゅうかい
- ◆ 地域密着型介護老人福祉施設
- ◆ 富山県富山市
- ◆ 利用者数:29名 従業員数:25名

※利用者数及び従業員数は令和5年2月1日時点



被介護者を抱え上げず移乗できるため、腰痛を予防するとともに、被介護者にとっても負担が少なく安全に移乗できる。

選考委員の総評

取組の成果を客観的にデータで分析し、他の事業所へ情報を開示するなど、介護業界へのICT・介護ロボットの導入等に大きく寄与している。



端末・インカムを活用し、音声入力により記録



シフト作成ソフトによる勤務表の作成

取組概要

- 腰痛予防に着目し、作成した介護マニュアル等を活用した研修を施設内外を問わず実施し、職場環境改善に取り組むほか、介護ロボットやICTを効果的に活用し業務効率化を実現することで、紙文書や職員の時間外勤務費用を削減し、捻出した財源をテクノロジーの更なる導入に充てるといった好循環を生み出している。
- 意欲ある準職員の正規職員への登用(9名)や出産、子育て、ハラスメント等に関する相談窓口の設置、女性職員同士のメンター制度の実施などにより、女性管理職割合63.4%や育児休業後、100%の職員の復職を実現するといった、多様な働き方を可能にする取組を強力に推進している。